







# 安全上のご注意 1

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

	<b>警告</b> 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
	<b>注意</b> 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。


■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。


	してはいけないこと。
	しなければならないこと。


## オーナー(管理者)の方へ


- 利用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守ってお使いいただけるよう管理・指導をしてください。
- 衣類乾燥機に表示している注意ラベルが破れたり、はがれたり、また絵や文字が見えにくくなった場合はお買いあげの販売店で新しい注意ラベルをお求めいただき、必ず貼り替えてください。
- 衣類乾燥機から離れた場所で操作する際、対象となる衣類乾燥機の周囲に他の人がいないことを確認して操作するように利用者への説明をお願いします。
  - 集中管理端末の場合は、端末は操作対象の衣類乾燥機が見える位置に配置し、また、端末は小さなお子様が操作できないように管理・指導をしてください。
  - 携帯端末の場合は、衣類乾燥機の本体周囲または携帯端末の画面にて注意喚起をしてください。


## 警告 火災や感電、けがを防ぐために


-  **電源や電源プラグ・コードは、以下のことはおこなわない**
- 傷んだものは使わない
  - 束ねない、無理に曲げない
  - 傷付けない、加工しない
  - 重いものを載せない、はさみ込まない
  - 引っ張らない、ねじらない
  - コードを持って抜かない
  - ぬれた手で抜き差ししない
  - コンセントの差し込みがゆるいときは使わない  
(感電・ショート・発火の原因)
  - 破損の場合はお買いあげの販売店へ修理をご相談ください。

-  **交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う**  
(電源や定格が異なったり、他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因)

-  **電源プラグの刃および、刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く**  
(火災の原因)

-  **アースを確実に取り付ける**  
(故障や漏電のときに感電の原因)
- アース線接続
- アース工事は販売店または、最寄りの電気工事店にご相談ください。











-  **次のような衣類は(洗濯後でも)絶対に乾燥しない**
- 油や溶剤などが付いた衣類
    - 食用油・動植物系油・機械油・灯油・ガソリン・美容オイル(ボディオイル・エステ系のオイルなど)・軟膏・ベンジン・シンナー・アルコール・ドライクリーニング油など
  - 発泡ウレタン(スポンジ類)
    - ポリプロピレン繊維・樹脂(セルロース系)・手芸用ボンドなどを使ったもの
- (油の酸化熱による自然発火や引火の原因)

-  **引火物を本体の中に入れたり、近付けない**
- 灯油・ガソリン・シンナー・アルコールなどをドラムの中に入れたり、それらの付着した衣類を乾燥しない。  
(爆発や火災の原因)



# 警告

火災や感電、けがを防ぐために

 <p>浴室など湿気が多い所や風雨にさらされる場所に置かない (感電や漏電による火災の原因)</p>	 <p>ガス漏れが発生した場合は、すぐに換気して電源プラグには触れない (爆発や火災の原因)</p>
 <p>直射日光の当たる場所や、35℃以上になる場所、発熱器具のそばに置かない (製品の変形や火災の原因)</p>	 <p>ドラムの回転が停止していることを確認してから衣類を取り出す (衣類が手などに巻き付き、けがの原因)</p>
 <p>プラスチック部には絶対に火気を近づけない (火災の原因)</p>	 <p>乾燥運転を途中で止めて放置しない (自然発火や引火の原因) ●途中で止めた場合は、すぐにすべての衣類を取り出して放熱のために広げてください。</p>
 <p>改造しない。また修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない (火災・感電・けがの原因) ●点検や修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。</p>	 <p>お手入れ・点検の際は本体各部に直接水をかけない (ショート・感電の原因)</p>
 <p>ドアを開閉するときは、ドアに手や指をはさまない ●ドア取付金具(ヒンジ部) (6ページ) の近くに手を置いたまま、ドアを開閉しない。 ●特にお子さまにはご注意ください。 (ドアと本体の間に手や指をはさんでけがをする原因)</p>	 <p>プラグを抜く</p> <p>お手入れ・点検の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く (感電やけがの原因)</p>
 <p>濡れた手で操作パネルに触れたり、操作しない (感電や漏電の原因)</p>	 <p>運転中に熱交換器の点検をおこなわない (ショート・感電の原因)</p>
 <p>子どもには触れさせない 近くに台を置かない (ドラム内に閉じ込められたり、やけどやけがの原因)</p> 	 <p>熱交換器のお手入れの際は、必ず保護手袋をはめる (鋭利な表面でけがの原因)</p>  <p>異常・故障時は、点検・修理を依頼する ●異常を感じたら、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買いあげの販売店に必ず点検・修理を依頼する (感電や漏電・ショートなどによる火災の原因)</p>

# 安全上のご注意 2



## 注意

漏電やけがを防ぎ家財などを守るために



### 運転前に衣類の取扱表示と衣類の中身を確認する

- 乾燥できないものがあるため、衣類の取扱表示を見て確認する。(衣類の損傷を防ぐため)
- 薄手の衣類、顔料プリント衣類および防水性の衣類は乾燥させない。(火災や発煙の原因)
- ポケットの中にマッチやライター、ヘアピンなどが入っているときは取り出す。(衣類と本体の損傷を防ぐため)



### 防水性の衣類やシートは乾燥しない

- レインコート
- サウナスーツ
- ウインドブレーカー
- ダウンジャケット
- スキーウェア
- 運動用サポーター
- 理美容用クロス
- 自転車や自動車などのカバー
- オムツカバー
- 寝袋
- 防水シート
- 防水エプロン など

(異常振動を起こし、本体の転倒・損壊やけがをしたり、衣類や床・壁を破損する原因)



### 金属粉、金属片は衣類から取り除く

(感電の原因)



### 大型の物は乾燥しない

- カーペット
  - 水を通さないカーペットカバーやマット類 (裏にゴムなどがついている物)
  - むいぐるみ
  - まくら
  - 布団 など
- (周囲の壁などの損壊やけがの原因)



### 毛布洗いネットを使用しない

(異常振動を起こし、周囲の壁などの損壊やけがの原因)



### しずくのたれるような衣類を入れない

(感電の原因)



### 運転中は、ドアや本体上部に手を触れない

(やけどの原因)



### ドアを閉めるとき、衣類などはさまない

(水漏れなど故障の原因)



### ドアにぶらさがったり無理な力を加えない

(本体の故障や水漏れの原因)



### 乾燥後は衣類を早く取り出す

- 汚れ(特に植物油)の残っているものを乾燥後そのまま放置しておく、余熱で自然発火することがあります。早く取り出して冷ましてください。



### 乾燥後、衣類を取り出す際はやけどに注意する

- 乾燥中はドラム・衣類・ドアが高温になっており、やけどをするおそれがあります。終了直後に衣類を取り出す際もご注意ください。



### 本体の上へのぼったり、壊れやすい物を置かない

(変形・破損によるけがや運転時の振動により、置いた物が落下・破損する原因)



### 2段積みの際、スタッキングキットの引き出し部にのぼったりしない

- スタッキングキット引き出し部の耐荷重は15kg以下です。



### 本機を廃棄するなどのために一時的に保管するときは、ドアを取りはずす

- 子供が閉じ込められるおそれがあります。ドアのねじをすべてはずして取りはずしてください。



## 注意

漏電やけがを防ぎ家財などを守るために



### フィルター類は、必ず確実に取り付けて使用する

(けがや本体破損の原因)



### 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因・万一の水漏れの原因)



プラグを抜く

### 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

(感電や、ショートして発火の原因)



### 用途外には、使用しない

- ドラムに衣類以外のものや人、動物を入れて運転しないでください。(乾燥機本来の用途以外のものは乾燥しない。異常振動を起こし、本体の損壊や、けがの原因)



### 本機は以下に類似する用途で使用する

- 店舗、事務所、農家および他の作業環境内のスタッフ用区域
- ホテル、モーテルなどの宿泊施設で顧客が使用するもの
- コインランドリー内の共用区域

# 使用上のお願い

## お守りください

### 洗濯物を入れ過ぎない

- 衣類の目安は **8 ページ** を参照してください。
- 乾燥むらになったり、運転途中でエラーになることがあります。
- 揺れが大きくなる原因になります。

### のり付けした衣類は乾燥しない

- 洗濯時にのり付けした衣類も乾燥しないでください。
- フィルター類の目詰まりの原因になります。

### 漂白剤などを使用したとき

- 洗濯時、漂白剤や次亜塩素酸ナトリウムなどの薬剤をご使用になったときは、十分(においが残らない程度)にすすいでから乾燥してください。
- 洗濯物に漂白剤などが残っているまま乾燥すると、本体の寿命を縮めます。

### 乾燥フィルターは毎日点検する

- 乾燥フィルターが目詰まりすると、故障の原因になります。

### ドアパッキンやドラム内の糸くず・毛髪などは取り除く

### 投入口を揺すらない

### 衣類は各コースで決められた容量以内で使用する

- 決められた容量より多く入れると、乾燥むらになったりします。

### ドアを確実に閉めてから運転する

- ドアが確実に閉まっていないと、衣類が飛び出したり、ドラム内の湿気が漏れて、ドアの裏面や周囲などに結露し、しずくがたれる場合があります。

### ポケットの中のものは取り出す

- 洗濯物や本体の傷付きを防ぐために、硬貨・ヘアピン・カーテン金具などの金属片などは、必ず取り除いてください。

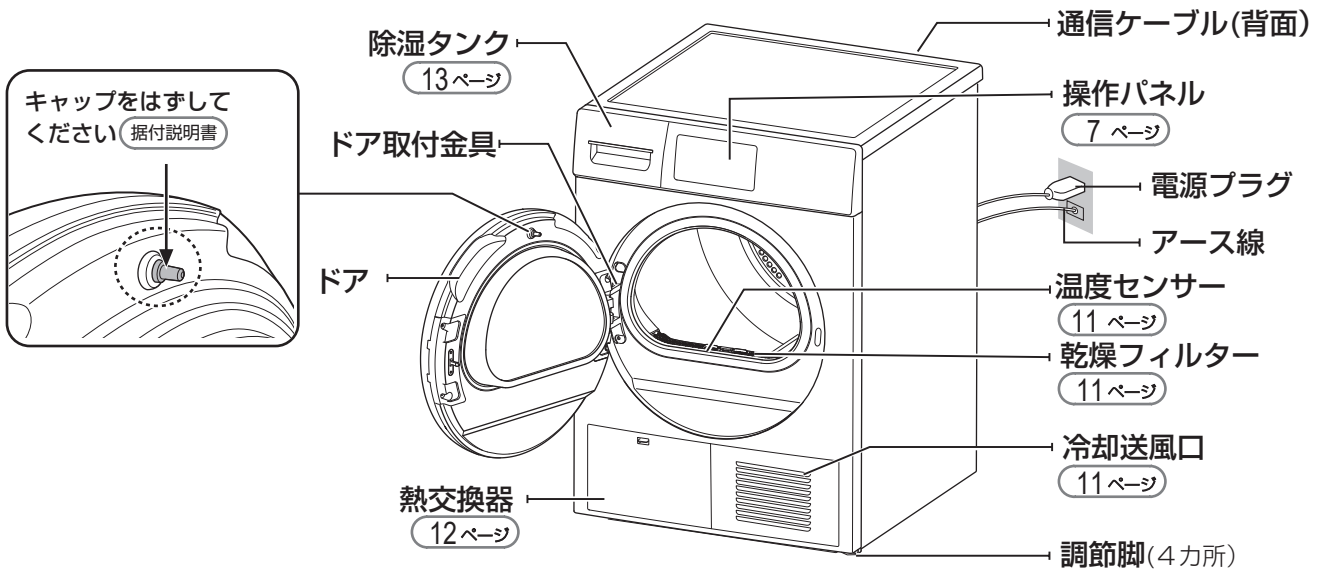
### 本体やドアに洗剤類が付いたら、すぐに拭き取る

- 拭き取らずに放置すると、本体が変色したり傷んだりする原因になります。

# 各部のなまえ

## 本体

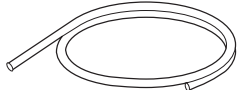
●乾燥フィルターは消耗部品です。



## 付属品

### ●外部排水ホース(1個) 据付説明書

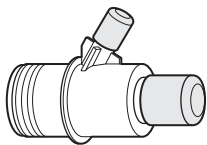
長さ 約2m、外径 約15mm



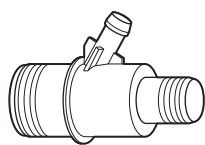
### ●排水つぎてセット 据付説明書

排水つぎて(1個)

工場出荷時はキャップがそれぞれ付いています。



キャップ付き



キャップをはずした状態

キャップは、洗濯機や乾燥機をそれぞれ単体で設置する場合に使用します。

●洗濯機側用  
キャップ大(1個)



●乾燥機側用  
キャップ小(1個)



●クリップ大(1個)  
洗濯機排水ホース用



●クリップ小(1個)  
乾燥機外部排水ホース用



### ●保証書(1部)

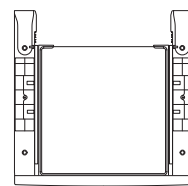
## 別売品

洗濯機と乾燥機を2段積みにする際は、別売のスタッキングキットをご使用ください。 据付説明書

機種名：KD-STK1

ご購入や取り付けは販売店にご相談ください。

### セット内容

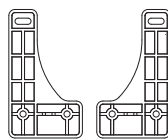


スタッキングキット

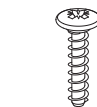
●ねじ(6本)  
(ねじロック付き)

●ワッシャ(12個)

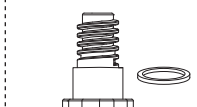
●六角ナット(6個)



固定板



ねじ(6本)

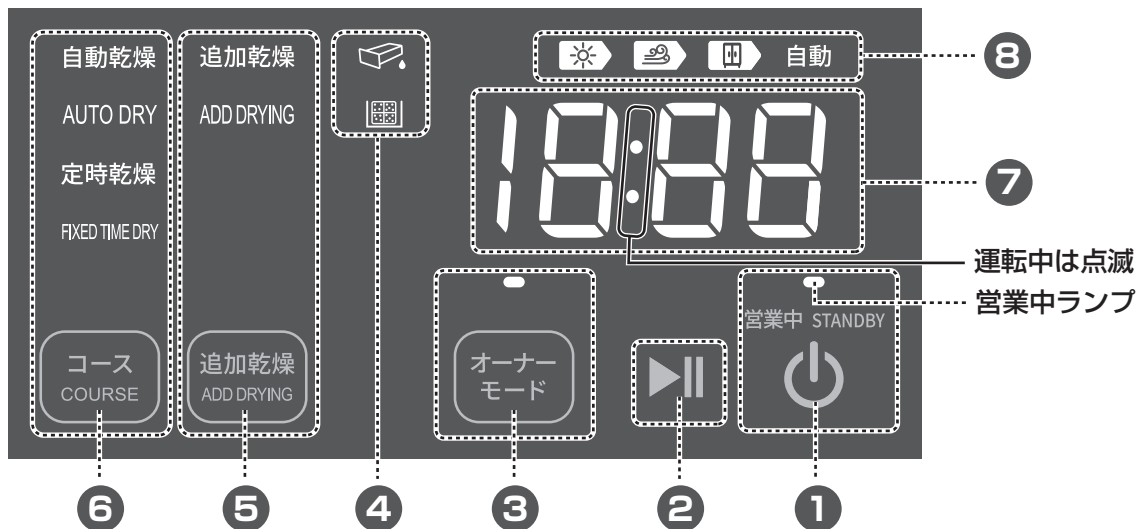


接続脚(4本)

# 操作部の見かた

## 操作パネル

➤ ⏪: 点灯 ➤ ⏩: 点滅



### 1 電源キー

- タッチすると「ピーッ」と鳴って営業中ランプが点灯し、待機状態 (8 ページ) になります。
- 電源キーを「ピーッ」と鳴るまで5秒以上長押しすると電源が切れます。



### 2 スタート・一時停止キー

- タッチすると運転スタートします。運転中にタッチすると一時停止します。

### 3 オーナーモードキー

- 外部通信で乾燥機を操作するモードに設定する際に使用します。

### 4 お知らせランプ

- ランプが点滅して以下をお知らせします。



外部排水ホースを使用しない場合、除湿タンクに水がたまると点滅します。水を捨ててタンクを空にしてください。(13 ページ)



乾燥フィルターを掃除してください。(11 ページ)

### 5 追加乾燥キー (10 ページ)

- 追加乾燥したいときにタッチします。タッチするごとに設定値(初期値: 10分)単位で乾燥時間が増えます。

### 6 コースキー

- タッチするごとにコースが切り替わります



### 7 数字表示部

- 運転時間(残り時間)、エラー番号を表示します。運転中は「:」が点滅します。

### 8 運転内容/進行表示

- 各コースの運転内容や行程を表示します。

乾燥運転中	シワ防止運転中
送風運転中(冷却中)	自動 自動乾燥コース時に点灯

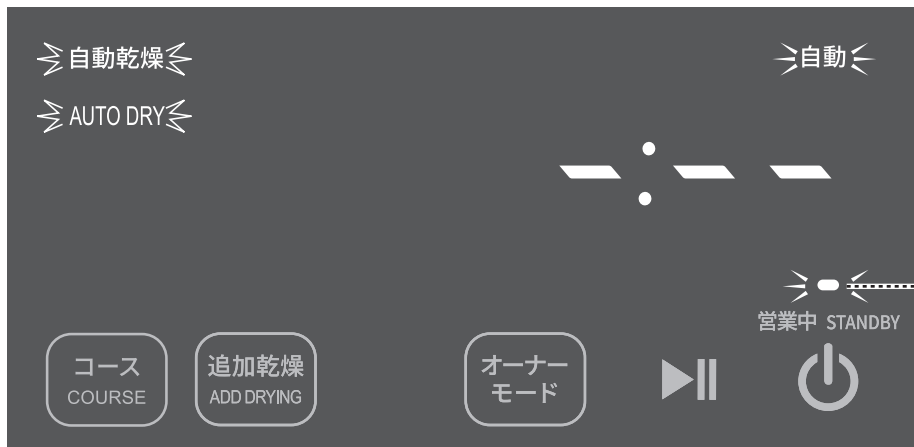
### ご注意

- 操作パネルはぬれた手でさわらないでください。また汚れていたり、水や洗剤、柔軟剤などが付いたときは、水を含ませたやわらかい布で拭き取ったあと、から拭きしてください。
- 手袋やばんそうこうをしたり、爪やとがったもので操作しないでください。指で直接操作してください。

# 運転のしかた 1

## 待機状態の表示 (通常モード)

電源キーを押すと、「営業中ランプ」が点灯して待機状態の表示になります。



営業中ランプ  
電源「入」時は常時点灯

- 待機状態中は操作を受け付けません。
- 運転終了後は、ドアを開けるまで「End」を表示し、ドアを開けると待機状態になります。(自動で電源は切れません)
- 電源を切るときは、電源キーを「ピーッ」と鳴るまで5秒以上長押しします。

## 運転コース

上段：50Hz地域  
下段：60Hz地域

コース		乾燥量の上限	運転時間の目安
自動乾燥	乾燥量により運転時間が異なります	8kg	約1時間10分～5時間30分 約1時間10分～5時間
定時乾燥	運転時間はタイマー方式です	8kg	40分*
追加乾燥	10分*ずつ追加できます	8kg	10分～3時間30分*

\* 工場出荷時の設定(初期値)です。オーナーモードで変更できます。

乾燥量は日本電機工業会自主基準の衣類です。

ワイシャツ  
(混紡約200g)



ブラウス  
(混紡約200g)



長袖アンダー  
シャツ  
(綿約130g)



パジャマ(上下)  
(綿約500g)



スリッパ  
(混紡約150g)



トランクス  
(綿約80g)



靴下  
(混紡約50g)



タオル  
(綿約70g)



バスタオル  
(綿約300g)



シーツ  
(綿約500g)



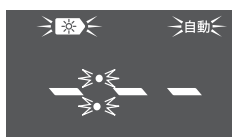
## 基本的な使いかた

- 1 ① 十分に脱水した衣類を入れてドアを閉める  
② コースを選ぶ



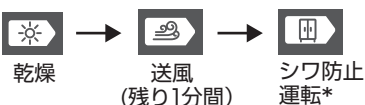
- 「コース」キーをタッチするごとに切り替わります。
- 「定時乾燥コース」を選ぶと、「自動」が消灯し、残り時間「40分<sup>\*</sup>」を表示します。  
※ 工場出荷時の設定(初期値)です。オーナーモードで変更できます。
- コースを選んでから10分以上運転開始されない場合、待機状態 (8 ページ)に戻ります。

- 2 スタートする



例 自動乾燥コース

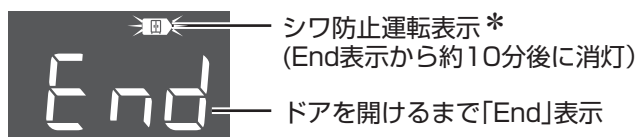
- 残り時間確定後に残時間を表示し、1分ごとにカウントダウンします。
- 「自動」残り時間確定後に消灯します。
- 進行表示が順番に点灯します。



- 3 運転が終了すると「End」を表示する  
(終了音「ピーッピーッ」が10秒間鳴る)

- 衣類を取り出してください。
- 点灯中でも衣類を取り出せます。  
(ドアを開けずに約10分放置すると数回回転します)
- ドアを開けると「ピーッ」と鳴り、待機状態になります。

**ご注意** ドラムの回転が停止していることを確認してから衣類を取り出してください。  
【衣類が手などに巻き付き、けがの原因】



\* 運転終了後、ドアを開けずに放置していると、約10分後に置きシワ防止のため数回回転します。工場出荷時は、「シワ防止運転/有り」の設定です。外部通信(ランドリー管理システム)で「有り/無し」が設定できます。

- 運転中にドアを開けたときは、運転を一時停止します。(報知音「ピピピピ…」が約10秒間鳴る)
- ドアが開いている間も残り時間はカウントダウンを継続します。ドアを閉めると運転が自動的に再開します。(ドアを閉めた時の表示時間からカウントダウンを継続します)
- ドアを開けたまま放置したときも、残り時間はカウントダウンを継続し、残り時間がなくなったら、「End」を表示します。

残り時間「1分」表示中にドアを開けたとき

- ドアを開けてから約3分経過後、「End」を表示します。開けてから3分以内にドアを閉めた場合は、運転を自動的に再開し、1分間運転します。

# 運転のしかた 2

## 追加乾燥したいとき

1 操作パネルが待機状態 (8 ページ) であることを確認し、「追加乾燥」キーをタッチする



例 追加乾燥時間を10分<sup>※1</sup>に設定しているとき(初期値:10分<sup>※1</sup>)  
<sup>※1</sup> 工場出荷時の設定。オーナーモードで変更できます。

- 運転中は、追加乾燥の設定はできません。
- 各コースを運転後に追加乾燥したいときは、ドアを開閉して待機状態に戻してください。

2 乾燥時間を設定する 例 設定時間10分のとき



- 「追加乾燥コース」キーをタッチするたび、乾燥時間が10分<sup>※1</sup>ずつ増えます。
- 10分～3時間30分<sup>※2</sup>まで設定できます。

3 スタートする



<sup>※2</sup> 工場出荷時の設定は10分(初期値)です。オーナーモードで変更できます。追加乾燥時間の設定により、設定可能な乾燥時間の最大値が変わります。

4 運転が終了すると「End」を表示する (終了音「ピーッピーッ」が10秒間鳴る)

- ドアを開け、衣類を取り出してください。



シワ防止運転表示 (9 ページ)  
(End表示から約10分後に消灯)  
ドアを開けるまで「End」表示

オーナーモードで設定した追加乾燥時間設定値により、設定可能な乾燥時間の最大値が変わります。

追加乾燥時間 設定値	設定可能な乾燥時間の 最大値	追加乾燥時間 設定値	設定可能な乾燥時間の 最大値
10分	3時間30分	2時間	2時間
20分	3時間20分	2時間10分	2時間10分
30分	3時間30分	2時間20分	2時間20分
40分	3時間20分	2時間30分	2時間30分
50分	3時間20分	2時間40分	2時間40分
60分	3時間	2時間50分	2時間50分
1時間10分	3時間30分	3時間	3時間
1時間20分	2時間40分	3時間10分	3時間10分
1時間30分	3時間	3時間20分	3時間20分
1時間40分	3時間20分	3時間30分	3時間30分
1時間50分	1時間50分		

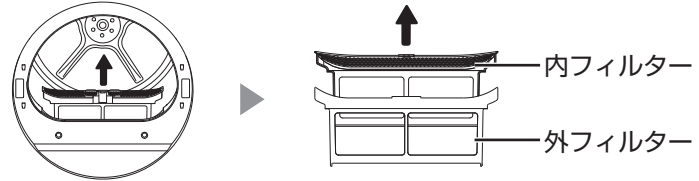
例 「追加乾燥時間設定値」を「40分」に設定した場合、設定できる乾燥時間は、40分→1時間20分→2時間→2時間40分→3時間20分となり、設定可能な乾燥時間の最大値は3時間20分になります。

# 点検のお願い 1

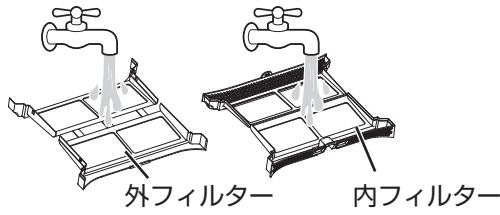
 <b>警告</b>	 本体各部に水をかけない 【ショート・感電の原因】
	 必ず電源プラグを コンセントから抜く プラグを抜く【ショート・感電の原因】

## 乾燥フィルター(内フィルター/外フィルター) 【毎日点検】

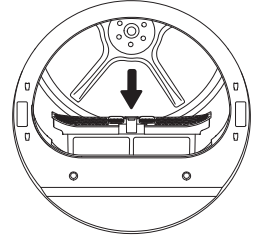
**1** ドアを開けて乾燥フィルターを取り出し、内フィルターをはずす



**2** 内フィルター、外フィルターをそれぞれブラシなどでほこりを取り除き、水で洗う  
●水洗いしたあとは、十分に乾かしてください。



**3** 十分に乾かしたフィルターを元どおり取り付ける  
●フィルターの色が変わることがありますが、使用上の問題はなりません。



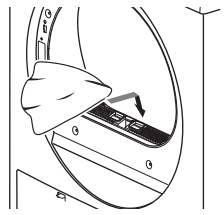
**ご注意**

- フィルターの取り付け向きにご注意ください。【破損の原因】
- フィルターをはずしたまま運転しないでください。【乾きが悪くなったり、乾燥中にほこりが舞い上がる原因】

## 湿度センサー 【週に1回程度】

湿度センサーにほこりがたまると、正確に検知できなくなり乾燥時間が長くなることがあります。

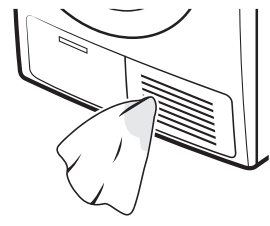
乾いたやわらかい布で拭く  
● センサーは内側の金属部です。  
(円弧状・2本)



## 冷却送風口 【毎日点検】

ほこりが内部に入ってしまったと、異常動作や火災の原因となります。

水を含ませたやわらかい布で拭く




## 凍結防止のために

設置環境の温度が低すぎると排水ホース内に残った水が凍結し、製品が故障する原因になります。凍るおそれのある場所には設置しないでください。

●凍結したときは、凍結部分を蒸しタオルであたためて解凍させてください。

# 点検のお願い 2

<b>警告</b>	 本体各部に水をかけない 【ショート・感電の原因】
	 必ず電源プラグを コンセントから抜く プラグを抜く【ショート・感電の原因】

## 本体・ドアパッキン・ドア・ドラム(ステンレス槽)

水滴・洗剤・糸くず・汚れがついたら

本体・ドアパッキン・ドアは、水を含ませたやわらかい布で拭き取る  
ドラムは、よく絞ったやわらかい布で拭く

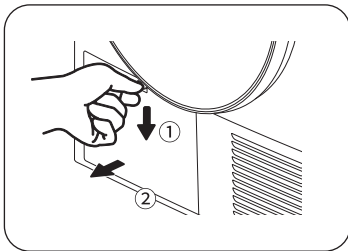
- 本体やドアの汚れが気になる場合は、台所用中性洗剤を薄めた液をしみ込ませた布で拭き取り、最後に水拭きする。(研磨剤入りの洗剤は使用しないでください)
- 本体やドアに液体洗剤・柔軟剤・漂白剤・洗濯槽クリーナーなどが付いた場合は、すぐに水を含ませた布で拭き取る。【放置するとプラスチック部の変色・傷みや割れ、金属部の腐食の原因】
- ドアパッキンのほこりは、水を含ませたやわらかい布で拭き取る  
【次の運転中に衣類に付着したり水漏れする原因】
- ドアパッキンにめめりがあるときは、酸素系漂白剤をしみ込ませた布で全周を拭き取り、最後に水拭きする。(やわらかいため、傷が付かないようにご注意ください)
- ドラムのさびに気付いたら、市販のステンレス用(台所用)洗剤で拭き取る。
- クレンザー・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油・化学ぞうきんなどは使わない。
- 操作パネルが汚れていたり、水や洗剤、柔軟剤などが付いたときは、水を含ませたやわらかい布で拭き取ったあと、から拭きする。

## 熱交換器 (保護手袋を使用する)

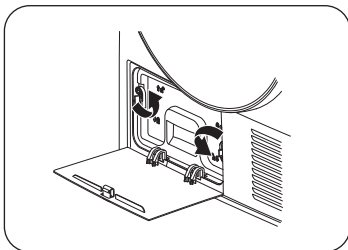
【週に1回程度】

熱交換器にほこりがたまりすぎると、製品の性能を低下させる原因になります。

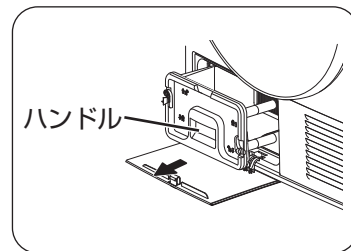
- 1** ふたのツメを引き下げてから、引っ張るようにして開ける



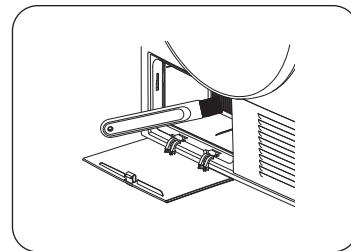
- 2** ロックファスナー(2カ所)を回してロックを解除する



- 3** ハンドルを引き抜く



- 4** ブラシなどで熱交換器の表面を掃除する




**ご注意**

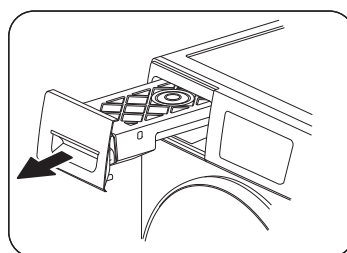
- 熱交換器の表面は鋭利なため、保護手袋を着用し、直接手で掃除しないでください。
- 力を入れ過ぎないでください。熱交換器に圧力がかかるとフィンが変形します。
- 熱交換器に直接水をかけないでください。

## 除湿タンク ●外部排水ホースを使用しないときは、使うたびにタンク内の水を捨てる

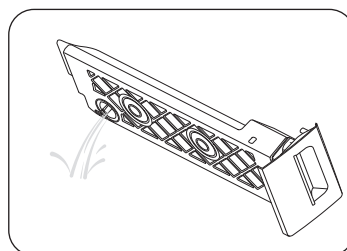
### ご注意

- 除湿タンク内の水は飲まないでください。
- 乾燥運転後は、毎回必ず除湿タンクを空にしてください。
- 運転中に  が点滅して運転が一時停止したら、除湿タンク内の水を捨て、タンクを元に戻してから、「スタート」キーをタッチして再スタートしてください。
- 除湿タンクを取り出すときは、両手で取り出してください。【タンクが落下してけがや破損の原因】
- 運転するときは必ず除湿タンクを取り付けてください。

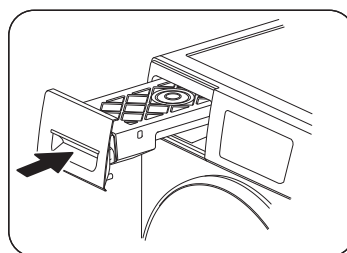
- 1** 除湿タンクを引き出す
- 必ず両手でタンクを持ってください。



- 2** 除湿タンク内の水を捨てて空にする



- 3** 除湿タンクを元に戻す
- タンクを取り付けずに運転しないでください。














# こんなときは？

※オーナーモード：通信システム(ランドリー管理システム)に接続している場合

こんなとき	お調べください
電源が入らない 運転がスタートしない	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li><li>●「スタート」キーをタッチしましたか。</li><li>●電源を一切受け付けないときは、電源プラグを抜き、1分ほどしてから差し直してください。それでも電源を受け付けないときは、故障のおそれがありますので、電源プラグを抜き、すぐに点検・修理を依頼してください。</li></ul>
停電したとき	<ul style="list-style-type: none"><li>●運転中や待機状態の際に停電した場合、通電後、「電源」キーで電源を入れ直してください。但し、オーナーモード*で停電したときは、通電後、自動的に待機状態に復帰します。</li></ul>
温風が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>●乾燥フィルターや熱交換器にほこりがたまっていたり、汚れたりしていませんか。 (11,12 ページ)</li></ul>
乾燥時間が長すぎる (自動乾燥コース)	<ul style="list-style-type: none"><li>●洗濯物を入れ過ぎていませんか。(8 ページ)</li><li>●乾燥機は正しく設置されていますか。また、冷却送風口がふさがれていませんか。</li><li>●乾燥フィルターや熱交換器にほこりがたまっていたり、汚れたりしていませんか。 (11,12 ページ)</li><li>●設置場所の環境や衣類の素材、厚さ、織り方、組み合わせにより、目安時間を超えて運転する場合があります。</li></ul>
異常な音がる	<ul style="list-style-type: none"><li>●ボタン、ヘアピンなどの異物がある場合は取り除いてください。</li><li>●乾燥機は水平に設置されていますか。</li><li>●ヘアドライヤーのような「ブーン」という音は異常ではありません。</li></ul>
洗濯物が傷んだ	<ul style="list-style-type: none"><li>●洗濯はできても乾燥はできない衣類があります。「安全上のご注意」や「使用上のお願い」をよくお読みのうえ、ご使用ください。</li><li>●衣類の取扱い表示をご確認ください。</li></ul>
糸くずがつく	<ul style="list-style-type: none"><li>●乾燥フィルターに糸くずやほこりがたまっていますか。(11 ページ)</li><li>●糸くずがつきやすい服や、新しいタオルなど糸くずが出やすいものは分けて乾燥する。</li><li>●衣類のポケットには何も入れない。</li></ul>
衣類のシワが気になる	<ul style="list-style-type: none"><li>●生地や素材や織りかたなどにより、シワの程度に差がでます。</li><li>●シワが気になる場合は、衣類の量を少なめにしたり、脱水後に衣類をほぐしてから乾燥してください。</li></ul>
乾きが悪い	<ul style="list-style-type: none"><li>●衣類の量を減らしてください。</li><li>●厚手の衣類が混ざっているときなどは、湿り気が残ることがあります。同じような厚みの衣類で分けて乾燥してください。</li><li>●乾燥フィルターや熱交換器にほこりがたまっていたり、汚れたりしていませんか。 (11,12 ページ)</li><li>●除湿タンクを使用しない場合、外部排水ホースは正しく接続されていますか。</li></ul>
においが気になる	<ul style="list-style-type: none"><li>●使い始めに、ゴムのにおいがすることがあります。約2時間乾燥運転をおこなうと、においが軽減されます。乾燥のご使用とともに軽減されます。</li><li>●ペンキやニスなどの臭いの強いものは、周囲の空気と一緒に乾燥機内に入ることがあります。気になる場合は換気をしてからご使用ください。</li></ul>

# エラー表示

エラー表示・内容	ご確認ください	再スタート
 排水エラー または 除湿タンク満タン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部排水ホースは正しく接続していますか。</li> <li>● 除湿タンクを使用してる場合は、タンクの水を捨ててください。(13ページ)</li> <li>● 零下になる場所に設置していませんか。「凍結したときは」をご確認ください。(11ページ)</li> <li>● 同じ表示をくり返す場合は、点検・修理を依頼してください。</li> </ul>	運転を初めからやり直す
 除湿タンク満タン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 除湿タンクを使用してる場合は、タンクの水を捨ててください。(13ページ)</li> </ul>	「スタート」キーをタッチする
 モーターエラー   モーター故障   コンプレッサーエラー   コンプレッサーパイプ温度エラー   異常温度エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを抜き、1分ほどしてから差し直してください。同じ表示をくり返す場合は、故障のおそれがありますので、電源プラグを抜き、すぐに点検・修理を依頼してください。</li> </ul>	運転を初めからやり直す
 運転中表示(運転は継続)   運転終了後、 ドアを開けると表示 乾燥フィルターが 詰まっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転終了後、乾燥フィルターをお手入れしてください。(11ページ)</li> <li>● <b>FF</b> 表示は、ドアを閉めると解除されます。</li> <li>● 運転中は乾燥フィルターははずさないでください。</li> <li>● 同じ表示をくり返す場合は、点検・修理を依頼してください。</li> </ul>	
 ドアが開いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転をスタートしたときにドアが開いている場合に表示します。(運転途中にドアを開けたとき(9ページ))</li> <li>● ドアを確実に閉めていますか。</li> <li>● 洗濯物を入れ過ぎていませんか。</li> <li>● 同じ表示をくり返す場合は、点検・修理を依頼してください。</li> </ul>	ドアを確実に閉める
 周囲温度異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くに発熱器具を置いていませんか。</li> <li>● 設置環境温度は零下になっていませんか。温度は5℃～35℃の環境下でご使用ください。</li> <li>● 同じ表示をくり返す場合は、点検・修理を依頼してください。</li> </ul>	「スタート」キーをタッチする

# 保証とアフターサービス

## 修理を依頼されるときは **出張修理**

- 1 「こんなときは？」(14ページ)や「エラー表示」(15ページ)などをお調べください。
- 2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてください。
- 3 お買いあげの販売店に次のことをお知らせください。

- 品名：電気衣類乾燥機
- 形名：(本書の表紙に記載の形名)
- お買いあげ年月日 ・故障の状態 (具体的に)
- ご住所 ・お名前 ・電話番号 ・ご訪問希望日

**便利メモ** お買いあげの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	(       )       -
お買いあげ日	年    月    日

### 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金

下記内容で構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金
部品代	修理に使用した部品代金
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金

## 消耗部品について

- 乾燥フィルターは消耗部品です。

### 愛情点検



### 長期で使用的場合は商品の点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源を入れても、動かないときがある。
- ドラムが止まりにくい。
- こげくさいにおいがする。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- さわるとビリビリ電気を感じる。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。

## 保証書(別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。  
保証書は、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間…お買いあげの日から6カ月です。  
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の保有期間

- 当社は電気衣類乾燥機の補修用性能部品を、製品の製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 廃棄するときは

製品を廃棄されるときは専門の廃棄業者へご依頼ください。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

## 免責事項について

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の中断による損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

事故防止のため、ご使用を中止してください。  
水栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

- 左記症状がなくても、お買いあげ後5年程度たちましたら、安全のためや能力低下を防ぐため、点検をおすすめします。
- 点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

# 仕様

- 下表は日本電機工業会の自主基準による。
- 本機はヘルツ(Hz)フリーです。転居により電源周波数が変わっても、部品の取り換えや調整は不要です。

種類	電気衣類乾燥機	乾燥の方式	除湿形回転ドラム式
電源	100V 50/60Hz共用	外形寸法	幅598×奥行670×高さ845 (mm) (奥行には排水ホース含む)
標準乾燥容量	8.0kg (乾燥布質量)		
定格消費電力	540 / 600W	製品質量	約49kg
運転音	45dB		

